「GIS を使ってみよう 2 (地理情報システムの活用)」

名前

コンテンツ URL : <https://storymaps.arcgis.com/stories/46e9225f4ee54569bd2b5c2b8ea23500>

問 1 Aの点は都道府県庁の建物の位置を示したものである。このように GIS を使って建物の場所を地図上に表すにはどのような情報があれば良いか、次のア～エから当てはまるものを二つ選ぼう。

- ア 建物のある場所の緯度と経度 イ 建物の形状 ウ 都道府県名 エ 建物の住所

問 2 次のうち、リモートセンシングの技術を使用していないものはどれか、教科書の本文や資料も参考にして、当てはまるものを二つ選ぼう。

- ア 電磁波を使用して雨が降っている場所や強さを測定する。
 イ 衛星画像を解析してアマゾンの森林が減少していないか監視する。
 ウ 住民基本台帳のデータを使って市区町村別の人口を地図で表示させた。
 エ 南海トラフの巨大地震で想定される液状化の可能性を表した地図を作成した。
 オ 世界各地で自動観測されている気温のデータを使用して分布図を作成した。

問 3 「工業出荷額」「自動車工場の位置」「新幹線」「高速道路」を同時に表示させた地図を見て、そこから読み取れることをあげてみよう。

問 4 GIS の発達でさまざまなデータを可視化して地域の特徴をとらえられるようになった。例を参考にして、自分で二つまたは三つのデータを表示・比較させて、そこから読み取れることを考えてみよう。

(例)	使用したデータ	みかんの生産量	と	りんごの生産量	と	日本の気候区分
	読み取れること	みかんは比較的温暖で雨の多い太平洋側の気候の生産量が多く、りんごは内陸の気候と北日本の日本海側の気候の地域で生産量が多い。				

使用したデータ	と	と
読み取れること		